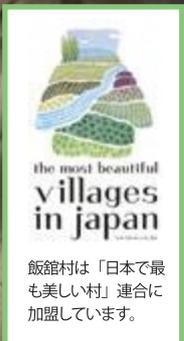


広報 
No.706
令和4年

いいたて

12
2022

美しい村の村まつり
TOKYO TORCH



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

www.vill.iitate.fukushima.jp

2 話題「冬こそ、どきどき！」
4 特集1「いいたて希望の里学園」
12 報告「飯館村表彰式」
13 お知らせ「火災予防週間」ほか
14 特集2「ふくしま駅伝」
16 お知らせ「長泥住民説明会」ほか
18 飯館百景「きらきらイルミネーション」
20 学びの広場「こども園NEWS」
21 生涯学習「YOITOKOツアー」ほか
22 ほけんとふくし「むし歯0の子表彰式」
23 「子宮頸がんワクチン／本田先生コラム」
24 「新型コロナワクチン接種」
25 「認知症について」
26 トピックス「村民食堂」ほか
28 いいたて便り
30 話題のパレット
31 村からお知らせ
32 いいたてDIARY／までの食卓
33 はなれていても／ふれ愛館だより
34 ふるさと資源 発掘図鑑
35 愛楽故郷味／ひとのうごき
36 ほっとNEWS／飯館言葉の達人

冬こそ、どきどき！ひみつ基地で遊ぼう！

木の温もりにあふれる室内に、創造性を育む仕掛けがいっぱい

ほっこり温かな空間
くつろいで遊べます

『ひみつ基地どきどき』は、「いいたて村の道の駅までい館」北側の「ふかや風の子広場」にあります。陽射しが差し込む室内は、美しい木目が印象的で、冬でも裸足で遊べる位ぽかぽかです。
『どきどき』は令和2年にオープンしました。入れ替え制で小まめに清掃を行い、新型コロナ対策はもとより利用者さんの安全面に配慮して運営しています。

温かな雰囲気、他にはない遊具などを気に入って、リピーターになっていただいているご家族もたくさんいます。

また、『どきどき』に隣接するドッグラン『わんこの庭のびのび』や『ふかや風の子広場』も、たくさんの方にご利用いただいています。まだ行ったことがないという方、見学もOKです。冬もどきどきを、ぜひ楽しんでください。

思わず集中して遊べる楽しい空間。

スタッフ手作りの作品集！

手触りのやさしい木製遊具。

季節のディスプレイ。



ふかや風の子広場 屋内運動施設
ひみつ基地どきどき

- 休館 毎週水曜日／年末年始
- 利用料 無料
- 時間による入れ替え制です。
(混雑時に入館制限を行う場合があります)
- 1回目 午前10時～正午
- 2回目 午後1時～2時30分
- 3回目 午後3時～4時
- 保護者の方と一緒にご利用ください。
- 施設利用のルールを守ってご利用ください。



仕切りのあるスペース。それぞれに置かれている遊具が異なります。パズルや積み木も様々な種類があり、小グループでじっくり遊べます。



大きな木製の滑り台。

身体を思いっきり動かせる大型遊具も人気。滑り台はホールの中央にあります。



今月の表紙

「日本で最も美しい村」連合の村まつりが「TOKYO TORCH」(トウキョウトーチ／東京都中央区)で開かれ、小宮民俗芸能保存会の皆さんがステージで田植え踊りを披露しました。高層ビルに囲まれた広場での舞いはコントラストの鮮やかさが際立ち、人々を一層惹きつけていました。

特集1 **魅力満載** **いいたて希望の里学園**

飯館村の真ん中で子どもたちの笑顔が輝いています。10月末に開催された、いいたてつ子発表会「赤蜻祭」の様子と合わせて、「いいたて希望の里学園」の魅力を紹介します。



教育目標

夢ふくらませ 道を拓く

自ら学ぶ力 認め合う心 健全な心身

今日はどんな楽しいことが待っているのかな。バスプールから昇降口へ走り出す児童。

令和4年度重点目標

夢や目標に向かって粘り強く取り組もう
～目標にむかって、コツコツとことん～

木の温もりあふれる校舎に
最新教育機器を整備
豊かな心を育み
学びを深めています

令和2年4月に開校した「いいたて希望の里学園」。3つの小学校(草野小・飯樋小・白石小)と飯館中学校を統合して誕生した義務教育学校です。旧飯館中学校を改修した魅力あふれる校舎は、村役場やスポーツ公園と同じセンター地区にあり、「までの里のこども園」とも隣接しています。

震災時の全村避難に伴い、学校も平成30年3月まで村外の仮設校舎にありましたが、その逆境をもつ教育環境と捉えた積極的な教育活動で、小中学校共に多くの成果を残しました。学校は避難を終えて村内に戻り、令和2年4月に、被災地初の義務教育学校として「いいたて希望の里学園」が開校しました。

開校から3年目。「いいたて希望の里学園」は、少人数教育と豊かな教育環境のメリットを生かし、義務教育学校としての先進的な教育を推進しています。

11月25日現在77人が在籍しており、こども園を合わせると、村の園・学校に通う子どもたちの人数は120人で、そのうち51人が村内に居住しています。

2階の多目的ホールは、主にワークショップやオンライン交流、全校集会などで活用しています。「いいたて学」などで探究活動を行う際には、最新の大型電子黒板5台を並べ、互いの考えを共有しながら話し合いを深めています。



今年度は、令和の日本型教育で求められている「ファシリテーション能力」の育成に力を入れ、子どもたち同士が話し合いを進めながら、主体的に問題解決・合意形成ができるようにしています。

※ファシリテーション＝問題解決に向けた話し合いなどで共通認識や相互理解を促進するためのサポートを行う手法

いいたて学

「いいたて学」は、義務教育学校ならではの独自教科です。地域と連携した探究的な学習を通して“いいたて”を学んでいます。1年生から9年生が体系的なカリキュラムの中で、飯館村の自然・文化・歴史・伝統を学び、発信することによって、飯館村の伝統を継承し、未来の飯館村を支える人材を育成することを目指しています。

いいたてっ子発表会「赤蜻祭」では、後期課程が学びの成果を学年ごとに発表しました。前期課程の発表の中にも、「いいたて学」の学びが散りばめられています。



後期課程による「小宮の田植え踊り」。保存会の協力を得ながら、先輩から後輩へと村の伝統が受け継がれています。

後期課程は、赤蜻祭や学校ホームページなどで「いいたて学」での学びを発信しています。写真は7年生の発表で『飯館村の過去』。



特設ダンス部



全校合唱「ふるさと」



いいたてっ子発表会「赤蜻祭」



10月29日に開催された、いいたてっ子発表会「赤蜻祭」。1年生から9年生が力を結集し、「届けよう、ほくらの想いを…」をスローガンに、「いいたて学」で学んだことを生かしながら、魅力いっぱいのステージ発表を行いました。



1・2年生の劇『ももたろう・飯館Ver.(バージョン)』。桃太郎がきびだんごの代わりに「凍み餅」を配り、個性豊かな家来を味方に鬼退治！楽しい演技で観客を魅了しました。



村民に太鼓の手ほどきを受けながら、進化を続ける学園オリジナルの『いいたて元気太鼓』。前期課程の児童が気合いを込め息を合わせて見事な演奏を披露しました。



5・6年生はオリジナルの歴史劇『義経』を熱演。衣装の製作から照明まで、子どもたちが取り組みました。本番では見応えある演技や立ち回りで大きな拍手を浴びました。



3・4年生の劇『どろぼう学校』。盗んだものは、授業で学んできた「ごんぼっぱ」や先生方の持ち物など大事なもののばかり。ユーモアたっぷりの演技で会場を沸かせました。



体育の授業や部活動でも機器を活用しています。先生がタブレット端末で記録した映像を、電子黒板で再生。映像で動きを確認し、学びを深めます。



児童生徒のタブレット端末の画面を電子黒板に映し、意見や考えを共有しながら授業や話し合いを進めることができます。

全児童生徒に配付されているタブレット端末を、日常的に授業や家庭学習で活用しています。

さらに、修学旅行や宿泊学習、校外学習でも常に携帯し、その場でクラウド上に気づいたことや学んだことを記録することや学んだことを記録することなどして、リアルタイムに学習を進めています。

様々な場面で幅広くICT教育を進め、情報活用能力や、個人・集団における問題解決能力を育んでいます。

※ICT=Information and Computer Technology=情報通信技術

ICT教育 いいね!

一人1台のタブレットを駆使して、情報活用能力や問題解決能力を育てます



外国語活動・外国語の授業は、3階の『イングリッシュルーム』で行っています。担当は後期課程の三浦有矢先生、根本奈於先生、外国語指導助手のキヤメロン・ノール先生。少人数で英会話を学んだり、英語の歌やダンスにチャレンジしたりしながら、楽しく英語で表現する力を身につけています。

学園では、1年生から外国語や外国の文化に親しむ活動を行っています。学年が上がるにつれて授業の回数が増え、学ぶ内容もより実践的なものになっていきます。

レッツ エンジョイ!
みんなで楽しみながら
英語に親しもう



「イングリッシュルーム」には、世界の国旗や単語カードが並び、入っただけで英語への興味関心が高まるように工夫されています。最近では、キヤメロン先生の友人でアメリカ在住のニキータ先生とのオンライン交流を楽しんでいます。

読書・NIE いいね!

※NIE=Newspaper in Education=新聞を教材として活用する活動

朝に読書・新聞タイム!
学校生活の中で「読む習慣」を
育てています

昼休みの本の貸し出しタイムには、2階の読書スペースにある図書棚から好きな本を選び、友だちとテーブルを囲んで楽しそうに本を読む姿が見られます。



高度情報化社会・AI時代を生き抜くために情報を正しく読み解く「読解力」が重視されています。

学園では、朝の時間に週2回ずつの読書タイムと新聞タイムを設け、読解力の向上を目指しています。

前期課程では、日常的に本を読む習慣が身につくとき、休みの時間に2階の読書スペースで本に親しむ姿が多く見られます。後期課程では、SDGSなどのテーマに合わせて新聞記事を切り抜き付箋紙に自分の考えを書くなどして、批評的に読む力・書く力を向上させています。





小さい時に年長者から受けた優しさを、大きくなったら次の代へ。経験から学び自然に身に付く振る舞いが、随所に現れます。



小中一貫教育を行う学園では、6歳から15歳の児童生徒が同じ学び舎で過ごしています。長い期間を共に過ごす子どもたちのつながりには、家族のような温かさがあります。校内の清掃や異学年交流イベントなど、学年を越えた活動が当たり前となり、代々続く上学年の面倒見のよさ、先輩後輩の仲のよさが、校風としてしっかり定着しています。隣接することも園とも交流しています。

学年を越えた強い絆 いいね!

互いをよく知り認め合う
家族のようなつながりは
培われてきた素晴らしい校風



新しく作られた畑でのごんぼつばやえごま、大豆などの栽培活動、二枚橋地区での田植え、稲刈り体験、凍み餅などの伝統食づくりなどでは、多くの村民講師や村民ボランティアの皆さんに、協力をいただいています。「農業の達人」から学ぶ栽培活動では、達人が何度も足を運んでノウハウを伝授。おかげで無事に収穫までこぎつけることができました。今年度からスタートした『しみじみマスタートプロジェクト』（凍み餅づくりを通して村の食文化を学ぶ）については、凍み餅が完成する頃、改めてお伝えします。

村民との交流が活発に いいね!

田んぼで畑でキッチンで
体験を通して大先輩から
村のよさを学んでいます



前期課程3・4年生は、学校の畑で凍み餅の材料となるごんぼつば栽培に挑戦しました。達人に一から学ぶことで、子どもたちもごんぼつばの達人に育っています。



豊かな教育環境と
少人数教育のよさを生かし
可能性を最大限に引き出す



いいいたて希望の里学園
校長 山田 徹 先生

義務教育学校として3年目、コロナ禍の影響はありますが、ようやく通常の教育活動を実施できるようになりました。村から整備していただいた素晴らしい教育環境や多く配置されている教職員などの人的環境をフルに生かし、タブレットや大型電子黒板を活用した最新の教育活動も実践できるようにしました。また、「いいいたて学」を通して多くの村民の方々に協力いただき、大きな成果を上げています。

子どもたちは、一人1台のタブレットを日常的に活用しながら、友だちと協力して課題を解決したり、自分の考えを生き生きと表現したりしながら、飯館村に誇りをもつて学校生活を過ごしています。本校の使命は、原発事故に伴う避難を経験した飯館村のただ1つの学校として、地域が期待し、地域の希望となる人材の育成です。これからも原点を忘れることなく、本校の特色ある教育活動を推進してまいります。



消防飯館分署から

秋の全国火災予防運動を実施

消防飯館分署では11月9日から15日までの火災予防運動週間に、関係機関と合同で火災予防の働きかけを行いました。

期間中、飯館村消防団が、各行政区に分かれて防火パレードを実施し、村民に「火の用心」を呼び掛けた他(写真1)、11月13日には、道の駅までい館において、消防団員・道の駅職員・飯館分署職員による合同火災対応訓練を実施し、火災時の避難誘導や消火活動時における三者間の連携について確認を行いました(写真2)。



飯館村消防団
防火パレード出発式

1



道の駅までい館にて
合同火災対応訓練

2

女性消防隊が火災予防をPR

飯館村女性消防隊では、「第39回いたて村文化祭」において消防広場を出展し、防火グッズの配布や水消火器による消火体験を行いました。また、来場した子どもたちに子ども用防火衣を着てもらい消防車の前で記念撮影を行った他、「我が家から火災を出さない」を合言葉に、来場者に住宅火災の予防を訴えました(写真3)。



飯館村女性消防隊
火災予防PR活動

防火グッズ配布の様子

3

企業消防隊消防資機材引渡し式



11月9日、菊池製作所(草野)で「企業消防隊消防資機材引渡し式」を行いました。村内初の企業消防隊の発足です。杉岡村長が協力を謝意を伝え、齋藤政宏統括工場長(前田)が「訓練を行い地元・飯館村を守っていききたい」と決意を述べました。

防火安全DVDを各事業所へ



防火安全協会から、村内の各事業所向けに、「防火安全DVD」が寄贈されました。消防点検の際に不備がなく見本となる公共施設であるとして、交流センター「ふれ愛館」が、村内事業所を代表して10月25日に贈呈を受けました。

令和4年度 飯館村表彰式

11月18日、令和4年度「飯館村表彰式」が交流センター「ふれ愛館」で行われ、6人の方が功労表彰を受けました。
この表彰は、村表彰条例に基づき、村の伸展に貢献された方を表彰するものです。例年9月30日の「村民の日」に行われている表彰式ですが、新型コロナウイルスの感染拡大期を避け11月に行いました。

功労表彰



菅野 新一さん
(佐須)

飯館村議会議員8年
うち村議会議長4年

功労表彰



大越 憲一さん
(深谷)

第2行政区長12年
うち行政区長会長6年

功労表彰



松原 光年さん
(小宮)

飯館村民生委員・児童委員20年
うち民生児童委員協議会会長9年

功労表彰



渡邊 計さん
(小宮)

飯館村議会議員8年

功労表彰



渡邊 茂與さん
(飯樋町)

飯館村民生委員・児童委員20年

功労表彰



佐藤 美津子さん
(草野)

飯館村民生委員・児童委員15年

長きにわたるご貢献、誠にありがとうございます。



8区 大島輝琉選手



7区 杉岡響選手



6区 三浦有矢選手



5区 菅野茂則選手



4区 大内龍太郎選手



3区 佐藤彰洋選手



2区 細杉睦輝選手



1区 佐藤ちさと選手



16区 庄司伸也選手



15区 三本松里奈選手



14区 横山健大選手



13区 佐藤賢二選手



12区 星 敬選手



11区 高橋七恵選手



10区 大内匡泰選手



9区 齋藤あおい選手

チームメンバー(敬称略)

- 総監督 林英滋
- 監督/3区 佐藤彰洋(消防飯館分署)
- コーチ 向井 敏(いいたて希望の里学園)
- コーチ 永井 努(いいたて希望の里学園)
- 1区 佐藤ちさと(IRC) 「とてもいい思い出になった」
- 2区 細杉睦輝(工学院大4年) 「駅伝が村と関わる機会。まだ限界じゃないと感じた」
- 主将/4区 大内龍太郎(飯館村社会福祉協議会) 「みんなで練習することの楽しさを感じた」
- 5区 菅野茂則(消防飯館分署) 「村から駅伝をなくしてはいけないと感じた」
- 6区 三浦有矢(いいたて希望の里学園) 「自分がこんなに頑張れたことがうれしかった」
- 7区 杉岡響(いいたて希望の里学園8年) 「完走できたことがうれしかった」
- 8区 大島輝琉(いいたて希望の里学園7年) 「自分がいま出せる最高の記録を出すことができた」
- 9区 齋藤あおい(西袋中2年) 「昨年の感動が蘇った。悔しさを糧に明日からまた頑張りたい」
- 10区 大内匡泰(菊池製作所) 「苦しくても気持ちを切り替えられた。来年も頑張りたい」
- 11区 高橋七恵(いいたて希望の里学園) 「沿道からの応援で前に進むことができた」
- 12区 星 敬(飯館村役場) 「歴史あるチームに参加することができて最高に楽しかった」
- 13区 佐藤賢二(JAふくしま未来) 「駅伝を通して仲間と走る楽しさを感じることができた」
- 14区 横山健大(いいたて希望の里学園) 「家族のようにあたたかいチームだった」
- 15区 三本松里奈(いいたて希望の里学園7年) 「応援がうれしかった。来年も頑張りたい」
- 16区 庄司伸也(飯館村役場) 「15年ぶりの出場。忘れられない年になった」
- サポート 宮里時真(いいたて希望の里学園8年)
- サポート 根本奈於(いいたて希望の里学園)

解団式の選手の言葉より

ひたすらに想いをつないだ16区間の完走

16区間の完走、それは小さな奇跡でした。

今年のチームは補欠なしの16人。誰かがケガや病気で欠場すれば、その時点でオープン参加となってしまうギリギリの状況だったのです。

選手の確保が危ぶまれた今年、村の駅伝の灯を消すまいと集まった16人が、想いを胸に全力で駆け抜けた95kmでした。チームには、コーチ、サポートメンバーを含め「いいたて希望の里学園」の先生方、そして生徒が合わせて10人参加しています。「ふくしま駅伝」にまた一つ、物語が刻まれました。

高速レースとなったにもかかわらず、飯館村のタスキは5区まで繰り上げなしでつなぐことができました。仲間の力走がチームの勇気となり、アンカーまでがひたすらに、完走を目指しました。

ラジオの実況が「連続優勝していた時代、飯館村がふくしま駅伝の二つの顔でした」と語り、震災前の「はやま湖駅伝」に触れて「長距離に関する血が脈々と流れている。これからも頑張ってもらいたい」とエールを送りました。

村では今夏初めての「ナイター駅伝」が開催され、それをきっかけに今大会へ出場した選手もいます。苦しい中でも想いは継がれ、飯館村の新たな歴史が芽生えています。

ゴール後、林総監督は「中学生の頑張り、特に輝いていた」と講評。佐藤監督は「偉大な先輩方が築いてきた伝統があり、今も声援をもらえる環境がある。チームとして大成功の大会だった」と仲間の力走を讃えました。

総合成績47位
記録6時間9分10秒

「しらかわカタールスポーツパーク(白河市総合運動公園)」陸上競技場～福島県庁前95.0km

そろそろ取得しなきゃ!と思っている皆さん
マイナンバーカード
申請方法はいろいろあります!



個別に郵送されている交付申請書に記入・返送する方法でも申請できますが、他にもいろいろな申請方法が。ご自分に合う方法を見つけて、さあ申請しましょう!

スマートフォンでサクサク申請

スマートフォンから!

- 1 スマホで顔写真を撮影。
- 2 交付申請書のQRコードを読み取る。
- 3 規約に同意し、メールアドレス等を登録。
- 4 メールで届くURLで専用ウェブサイトを開く。
- 5 顔写真を登録、必要事項を入力して申請完了。

画面の案内に従って進めばOK!



23桁の申請書IDは交付申請書の右上に記載されています。

申請用ウェブサイトからも申請できます。



交付申請書の右下のQRコードからスタート。

携帯ショップでも申請できます

お近くの携帯ショップで!

- スマートフォンを持っていない方でもOK。
 - QRコード付交付申請書を持参するとスムーズ。
 - ショップスタッフのサポートで申請できます。
- ※混雑も予想されますので電話予約がおすすめ。

窓口以外の方法で申請した場合カードの受け取りが役場の窓口になります。窓口で申請した場合は本人限定受取郵便で郵送されます。

東日本大震災により避難している方は現在お住まいの市町村窓口でも申請できます

※同封のチラシもご覧ください。

ご自分での申請が難しい方は役場窓口をご利用ください

窓口での申請は事前予約を!

平日も含め事前予約制です

- 平日午前9時～午後4時30分(昼休みを除く)は毎日手続き可能です。
 - 時間内の来庁が難しい方を対象に臨時窓口も開設中。
- 日時はお知らせ版で確認を。

住民課住民係 ☎0244-42-1618

マイナポイント第2弾を実施中!

(11月25日現在)

12月末までのマイナンバーカード申請が対象

※ポイントの申請は2月末まで



最大 20,000円分のポイントがもらえます!

- 1 マイナンバーカード新規取得で最大 5,000円分
- 2 健康保険証として利用登録で最大 7,500円分
- 3 公金受け取り口座の登録で最大 7,500円分



マイナポイントの対象となるサービスの一覧はこちら▶
(11月25日現在)



マイナポイント対象 カード 🔍

問 マイナンバー総合フリーダイヤル ☎0120-95-0178

長泥行政区住民説明会を経て今後の方針を決定
特定復興再生拠点区域の区域外の一部についても解除に向けた事業を推進

11月20日、村と国から関係者が出席し、長泥行政区の住民説明会が開かれました。

この説明会にて、次のことについて、住民からの了承が得られました。

- 拠点区域の避難指示解除は来年のゴールデンウィーク辺りを目指すこと。
 - 拠点区域外では、線量低減効果等を確認する場としての公園用地も、区域内と同時期の来年ゴールデンウィークの避難指示解除を目指すこと。
 - 拠点区域内と区域外の境界で、車が進入できる箇所には、バリケードが設置されること。
 - 「イイタテバイオテック株式会社」が計画する堆肥製造工場を長泥地区に誘致すること。
- 今後も避難指示解除後の長泥地区の将来像を見据え、住民、国等と協議を引き続き重ね、避難指示解除に向けた取り組みを進めていくこととなります。

11月20日の住民説明会は、「パルセいいざか」(福島市)で開催されました。村は、区の皆さん、国と何度も協議を重ね、解除に向けた取り組みを進めてきました。解除に向け、9月23日から開始された準備宿泊には、11月18日現在、3世帯7人が登録しています。



飯舘電力がチャリティ募金を寄附



11月22日、飯舘電力株式会社(菅野宗夫社長/佐須)から寄附をいただきました。寄附はチャリティ企画の『第3回飯舘電力杯 村民ゴルフ大会』で募られた募金です。贈呈式は大会会場のパーシモン・カントリークラブで行われました。

マルナカから各行政区に融雪剤



11月21日、マルナカ株式会社(遊佐憲雄代表取締役)から融雪剤120袋(1袋25Kg)の寄贈がありました。冬本番を前に各行政区に配付できるよういただきました。贈呈式は行政区長会議に合わせて交流センター「ふれ愛館」で行われました。

「ふかや風の子広場」の中央部。光に彩られて、いつもと違う景色が浮かび上がります。ツリー型のイルミネーションは直径が約16mあり、支柱部分に、思い出深い第1回の素材を生かしているそう。華やかさに見とれます。



飯舘 百景

きらきらイルミネーション



「ひみつ基地ときどき」も光に包まれて。



広場の遊具一つひとつにもイルミネーション。



ツリーの色合いは刻々と変化。奥のハウスも幻想的。

見慣れた景色が一変。通りがかりの親子連れなどが次々にやって来ました。子どもたちはきらきらと輝く遊具の中へ。大人は思わずスマートフォンを取り出して、光の景色を撮影していました。

「イルミネーション製作の専門家はいません。仲間の手づくりです」と青年部の皆さん。今年は広場の夜景の雰囲気を生かしてデザインしたそうです。

「あたたかな光の景色を楽しんでいたかったですね」。打ち合わせを重ね、さらには現場で試行錯誤。遊具のつひとつを輝かせるイルミネーションにも楽しいこだわりがあり、近づく間に、思わず笑顔になつてしまふでしょう。

※点灯は午後5時から9時まで。1月16日まで毎日行っています。季節が進む間に、雪景色に映えるイルミネーションにも出会えるかも知れません。

※天候などの理由により予告なく変更または中止となります。

冬のイルミネーションは、飯舘村商工会青年部（森健二部長／上飯樋）のメンバーが企画から設営まで行っています。回を重ねて6度目の冬を迎えました。毎年新しいアイデアとデザインで、バージョンアップを続けています。

今回のイルミネーションは、「ふかや風の子広場」がメイン会場です。試験点灯を撮影させていただきました（点灯式の模様は次号でお伝えします）。光に包まれた広場は、

水辺の秋景色を楽しみながら ウォーキング交流会を開催

10月30日、飯舘村教育委員会・飯舘村公民館・いいたてスポーツクラブ主催の『ウォーキング交流会』を開催しました。

今年は、摺上ダム(福島市)の周辺にコースを設定。「摺上ダムインフォメーションセンター」に集合し、見所を確認してからの出発です。ダム湖を囲む山々の色づきを楽しみながら、故郷の仲間と楽しむウォーキングは格別です。昼食は、途中の公園でグループごとに、「次はあそこに行ってみよう」と、この交流の継続を期待する声が聞かれました。



爽やかな秋晴れの下、それぞれのペースでウォーキングを楽しみ、和やかに交流した参加者の皆さん。

郷愁を誘う秋の飯舘を巡る 飯舘YOITOKO発見!ツアー

『第2回飯舘YOITOKO発見!ツアー～郷愁を誘う秋の飯舘を巡る～』を11月5日に開催しました。今年度から始まったこのツアーは、飯舘村の魅力に触れファンになってもらおうと企画しているもので、今回は、首都圏を中心に38人が参加しました。当日は、はやま湖畔で秋景色を堪能。『塩の道』をたどり、関沢古墳群を訪れ、村民講師の解説で太古の歴史にも触れました。また、交流センター「ふれ愛館」で、『食を考える会』お手製の郷土料理弁当や、ZABADAKのコンサートも楽しんでいただきました。



(上) 関沢古墳群の古墳にて。(右) 郷土料理に舌鼓。



ふんわり楽しくおいしい時間 ラテアート教室を開きました

11月10日、交流センター「ふれ愛館」で、生涯学習事業「ラテアート教室」を開催しました。講師は地域おこし協力隊の横山梨沙さんです。

ラテアートとは、温かなカフェラテやカプチーノの表面にデザインを施すもの。「注ぐタイプ」と「お絵描きタイプ」、2つの技法の教室を連続で開催しました。参加者は、それぞれが描きたいモチーフを選び、横山さんの手ほどきで作品づくりに挑戦。スチームしたふわふわミルクのやさしいラテを味わいながら、新しい体験を楽しんでいました。



左は「お絵描きタイプ」の作品。互いの作品を楽しんだり、自作を撮影したり、終始和やかに。

こども園NEWS



今回収穫したのは、「いいたて希望の里学園」の西側にある畑。3歳未満児も作業を応援しました。

がんばって掘りました 大きなサツマイモに大歓声!

10月28日、『まていの里のこども園』の3歳以上児「たいよう組」「つき組」「そら組」の約30人が、サツマイモを収穫しました。

苗植えから、水やりをして大切に育てたサツマイモは、園児たちの気持ちに応えるように大きく成長し、バケツに入りきれないほどの量になりました。

小さな手で大きなサツマイモを収穫した園児たちは、「大きいのが掘れた!」「先生見て見て!」と、とても楽しそうに歓声を上げながら、熱心に掘り続けました。

素敵な仮装でダンスを披露! こども園のハロウィンパレード

村役場に近づいて来る「Trick or Treat(トリック オア トリート)」のかわいらしい声。10月31日、こども園のハロウィンパレードがやって来ました。カボチャやお化け、ネコに魔女…。工夫いっぱいの仮装に身を包んだ園児たちが、玄関前で、元気なダンスを披露してくれました。コロナ禍前は庁舎内を練り歩き、お菓子を手にした職員も大勢集まり賑やかでしたが、今は我慢。ダンスのパワーをもらって、大人もみんな、マスクからこにこ顔がはみ出していました。



感染症対策で、お菓子のプレゼントは杉岡村長から代表園児に。

健やかな成長を願って 七五三参りを行いました

11月15日、こども園で、七五三の行事が行われました。

「そら組」の園児たちは、スクールバスに乗って、綿津見神社を訪れました。神社では、宮司さんからお参りの作法を教わり、そろって七五三参りを行いました。

園児たちは、この日に向けて、健やかな成長を願う七五三の由来や、千歳飴の意味などを教わってきました。千歳飴の袋は、一人ひとりの手づくりです。



心をこめて、七五三参りができましたね。自分でつくった千歳飴の袋もとっても素敵です。

● 子宮頸がん予防ワクチン(ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチン)予防接種について ●

HPVワクチンは、平成25年6月から、積極的な勧奨を一時的に差し控えていましたが、専門家の評価により安全性に特段の懸念が認められないことが確認され、接種による有効性が副反応のリスクを明らかに上回ると認められました。こうした専門家の意見を踏まえ令和4年4月から、他の定期接種と同様に個別の勧奨を行うこととなりました。***接種対象者の方には令和4年6月上旬に個別にご案内・予診票を送付しています。**

■定期接種 令和4年度に小学校6年生から高校1年生相当の女子(平成18年4月2日～平成23年4月1日生まれ)

接種期間:高校1年生相当の3月31日まで

■キャッチアップ接種 平成9年4月2日～平成18年4月1日生まれの女子(接種勧奨を差し控えていた時期に定期接種の年代だった方)

接種期間:令和4年4月1日から令和7年3月31日まで

*必ず母子健康手帳の予防接種の記録で接種歴をご確認ください。

*平成18・19年度生まれの方は、接種対象の年齢を超えても、令和7年3月末まで接種できます。

*自己負担はありません。(接種期間を過ぎると自己負担となります)

ワクチン接種のご案内を紛失された方やご質問のある方はご連絡ください。

問 健康福祉課健康係 ☎0244-42-1637

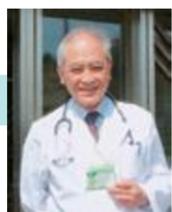
9価ワクチンについて

ヒトパピローマウイルス9価ワクチンの定期接種が令和5年4月1日から開始される見込みです。(現行は2価・4価ワクチン)同じ種類のワクチンの3回接種が原則ですが、希望があれば医師と相談の上で残りの回を9価ワクチンで完了することも可能となる見込みです。

本田先生に聴く

こころとからだといのちの詩

いいたてクリニック 本田 徹 先生



第3回

子宮がん予防のための検診とヒトパピローマウイルスワクチン

女性の子宮には頸部(けいぶ)と体部の二つの部分があり、それぞれ別のタイプのがんができることが知られています。年間1万人以上が発症し、2900人が亡くなる頸がんについては、ヒトパピローマウイルス(HPV)が9割以上のがんの原因になっていることが判明しています。このウイルスは、今年すでに患者が1万人を超えた梅毒と同じように、性感染症としての側面をもっています。他のがんに比べ比較的若い年齢層でも発がんの危険性があるため、十代の女性にHPVワクチンを接種しておくことが、将来の子宮頸がんの発生を予防する効果のあることが、欧米での研究でも証明されています。

このため日本でも、小学校6年～高校1年の年代の女子は、予防接種法に基づく定期接種として、公費によりHPVワクチンを受けることができます。ただし、二つ問題があつて、過去にこのワクチンを受けた女性の中で、接種後に神経系の重い症状が出た人がいて、その原因がワクチンの副作用によるものかどうか、判断が難しい場合があることです。現実にはいま裁判でこの問題に関して争いが続いています。対象者が未成年の女子であることから、このワクチンを受ける受け手は、保護者(両親など)と本人が話し合い、心配があれば医療機関や保健師ともよく相談し、助言を聞いてから決めた方がよいと思います。厚労省では、このワクチンに関する分かりやすい情報を提供し、接種後に万二症状が出た場合の説明のパンフレットも配布していますので参考にしてください。(村のいちばん館で入手できます)

■20歳になったら子宮がん検診、40歳になったら乳がん検診を受けましょう! 令和5年1月17日(火)に「いちばん館」で検診を実施します。詳しくは「お知らせ版(11月20日発行・第1000号)」をご覧ください。



ふかや風の子広場で むし歯0の子表彰式

11月3日、清々しい秋晴れの下、「ふかや風の子広場」で、「むし歯0の子表彰式」を行いました。「むし歯0の子表彰式」では、むし歯がないお子さんを表彰しています。今回は、令和3年度の3才5か月児健康診査で、むし歯が1本もなかったお子さん16人が表彰の対象となりました。式に集まった子どもたちは、名前を呼ばれると大きな声で返事をし、一人ずつ前に出て、杉岡村長から表彰状とメダルを受け取りました。また、式の終盤には「イタネちゃん」が登場し、子どもたち一人ひとりにプレゼントを手渡ししました。イタネちゃんのサプライズ登場に最初は驚いていた子どもたちも、タッチをしたり記念写真を撮ったりと、楽しそうな笑顔を見せていました。

名前	性別	行政区	名前	性別	行政区
中井田 燈	女	大倉	高橋 徹真	男	比曾
庄司 千晃	男	長泥	齋藤 禅	男	深谷
石川 翔	男	比曾	高野 里桜	女	飯樋町
小林 あおい	女	飯樋町	眞柴 紬	女	飯樋町
佐藤 瑠奈	女	草野	菅野 健人	男	比曾
手渡 雫月	女	前田・八和木	小山田 杏美	女	前田
高野 遥人	男	大久保・外内	庄司 碧音	男	伊丹沢
佐藤 心陽	女	飯樋町			

※生年月日順です。



これからも歯を大切にしようね

認知症になっても暮らしやすい村へ

認知症とは

認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が失われて、脳の働きが悪くなり、日常生活を送る上で様々な支障が出てくる状態のことです。



認知症ケアパス 認知症の状態に合わせた支援や医療、介護サービスなどのガイドブックです。飯館村地域包括支援センターでお配りしています。

老化によるもの忘れ

- 「何を食べたか」思い出せない。 ↔ 「食べたこと自体」を忘れる。
- 「約束をうっかり」忘れてしまう。 ↔ 「約束したこと自体」を忘れる。
- 目の前の「人の名前」が思い出せない。 ↔ 目の前の人「誰なのか」わからない。
- 必要なものを「うっかり」買い忘れる。 ↔ 買い物に「行ったこと自体」忘れる。
- 「ヒントがあると」思い出せる。 ↔ 「ヒントがあっても」思い出せない。

認知症によるもの忘れ

これらはあくまでも目安です。様々なケースがあります。

ご参加ください!

村は、認知症の方・介護をしているご家族の他どなたでも参加できる認知症カフェ「ゆずカフェ」を開いています。また、認知症について学び理解を深める「認知症サポーター養成講座」も、毎年開催しています。開催の日時や会場については、お知らせ版などでご案内しています。「認知症予防教室」は、地域サロンなどでも開催しています。

生活習慣の改善に!

認知症予防教室

生活習慣の改善は、認知症の予防にもつながります。日々の食事など身近な事から、注意したいポイントなどが学べます。



認知症サポーター養成講座

認知症について正しく学び、理解してもらうための講座です。認知症サポーターとは「認知症の方やその家族を温かく見守り応援する人」です。

修了者にオレンジリングやバッジを交付します。



認知症カフェ「ゆずカフェ」

認知症の方やご家族の他どなたでも参加できる集いの場です。悩み事の相談や介護の息抜きにおしゃべりしましょう。



認知症者等QRコード活用見守り事業

認知症の高齢者等が保護された時に早期に身元が分かるようにQRコードのシールを交付しています。



ご相談ください

「家族について相談がしたい」「以前と様子が変わったと感じる方がいらっしゃる」など、お気軽に飯館村地域包括支援センターまでご相談ください。

飯館村地域包括支援センター

住所：飯館村伊丹沢字伊丹沢 5 7 1 番地
電話：0 2 4 4 - 4 2 - 1 6 2 6

オミクロン株対応ワクチンについて

1・2回目の接種を完了した12歳以上の全ての方が対象です

新型コロナウイルスの従来型とオミクロン株に対応した『オミクロン株2価ワクチン』の接種を実施しています。このワクチンは、初回接種(1・2回目接種)を完了した12歳以上の全ての方が対象で、接種は一人1回です。最終接種から3か月以上経過している方は接種が可能です。

『オミクロン株2価ワクチン』には「BA.1対応型」と「BA.4-5対応型」の2種類があります。どちらもオミクロン株に対して従来型を上回る効果が期待されます。また、現行の制度では、令和5年3月末で新型コロナウイルスワクチンは終了します。早目の接種をご検討ください。

飯館村の集団接種(いちばん館)

接種日	使用ワクチン	対象
12月16日(金)	モデルナ社	意向調査で村内接種を希望された方
12月17日(土)	ファイザー社	
12月19日(月)	※オミクロン株対応	

若い方も年末までに!

これまで2年間、年末年始に流行が起きています。年末までに、重症化リスクの高い高齢者はもとより、若い方たちにも『オミクロン株2価ワクチン』の接種完了をおすすめしています。

問 健康福祉課健康係 ☎0244-42-1637

※意向調査が未回答の方で村内接種を希望する方は健康係に連絡をお願いします。

ワクチン接種についての疑問

坪倉正治 先生に聞きました



〈ご紹介〉福島県立医科大学教授。震災後の福島で医療支援に尽力。村においてもリスクコミュニケーションなどに、お力添えをいただけてきました。相馬中央病院、南相馬市立総合病院、ひらた中央病院などに勤務。専門は血液内科で、新型コロナワクチンについては接種後の抗体の推移などを研究しています。

Q1 新型コロナに罹患(りかん)しました。それでも接種は必要ですか。

結論からお話すると、「必要」です。新型コロナウイルス感染症に罹患しても、時間の経過に伴い、感染によって獲得した免疫が低下していくことは、調査研究の中で明らかになっています。一度罹患した方も、再び感染する可能性があるということです。また、ワクチンを打つことによって、死亡リスクや重症化を低減できることも分かっています。冬季の感染拡大を抑えていくためにも、ワクチン接種は必要です。

Q2 新種の株の情報もあります。それでもこのワクチン接種は有効ですか。

ウイルスは絶えず変異を起こしていきますが、小さな変異でワクチンの効果がなくなる訳ではありません。変異がワクチンの有効性にどのくらい影響するかについては、それぞれの変異株について調査が進められていますが、変異前のワクチン接種が変異後の株にも一定の防御効果があることは、すでに確認されています。ワクチン接種が感染対策の要であることは確かであり、できることを一つひとつ行っていくことが大切です。

Q3 前回接種の副反応が辛かったので、接種に不安を感じてしまいます。

確かに副反応は辛いですね。しかし、罹患して重症化した場合に、様々な臓器にダメージを受けたり、それが長期のダメージにつながったりするケースが報告されています。ワクチン接種によって、そのようなダメージを抑えられるのですから、副反応が辛い方もおられると思いますが、それにも増して接種をする方がよいでしょう。特に、接種が可能でまだ一度も接種していない方、2回目までで3回目を接種していない方は、ぜひ早目に接種をしてください。

11月19日、道の駅までい館で、「いいたて愚真会」の皆さんが蕎麦打ちの実演・販売。飯館産の新蕎麦です。佐藤峯夫会長(宮内)は「おいしく味わってほしいね。来年は期間を設けて新蕎麦まつりができるといいなあ」と話していました。



愚真会の新蕎麦は道の駅のレストランでも味わえます。左はきのご蕎麦。全蕎麦メニューに揚げ餅と漬物が付いています。

「いいたて愚真会」が新蕎麦を実演販売



災害救助犬 じゃがいもの里帰り

『わんだフルまでい大使』で災害救助犬のじゃがいもが11月19日に1日限りの里帰り。震災の年に生まれたじゃがいもは、NPO法人日本動物介護センター(岐阜県)に預けられ、訓練を経て11回目の挑戦で災害救助犬になりました。この日は弟犬のゴンと一緒にふるさとでの交流を満喫です。

「図図倉庫」が本格オープン!

合同会社MARBLING(マープリング)が運営する『図図倉庫』(深谷)。本格オープンに合わせて11月19日・20日に内覧会が開かれました。関心を寄せる人たちが、整備に関わってきた人たちが次々に訪れ、交流も楽しんでいました。



(上)内外の人が関わりリノベーションに取り組んできた『図図倉庫』。Wi-Fi環境・冷暖房を完備、複合機などを備えたシェアオフィスの共用(有料)も開始しました。(下)11月23日には交流センターで4回目となる『飯館村の未来共創ワークショップ』を開催。20年後の村のありたい姿を描く一枚絵の制作や、ツアーの開発にも取り組んでいます。

山津見神社に一刀彫の白オオカミ

11月9日、「team OOKAMI」の皆さんが、杉岡村長を表敬訪問。アートを通じて飯館村を応援する新しいプロジェクトのスタートを報告し、山津見神社に奉納する伊勢一刀彫の「白オオカミ」を披露しました。オオカミをモチーフにしたデザインで、仕事おこしも企画していくそうです。



(上)表敬訪問の場面。(左)伊勢一刀彫の白オオカミ一対は翌10日、例大祭に合わせて山津見神社に奉納されました。

畑で充電!スローモビリティ

10月28日、株式会社G&ECO(小島盛利代表取締役)が花農家・花井由貴さん(大久保・外内)の『しえるふぁ〜む』でセレモニーを開催。花井さんにポータブル電源とソーラーパネルを贈呈、電動三輪バイクの無償貸し出しをスタートしました。脱炭素につながるエコシステムを中山間地域で始めようというプロジェクトの一環です。



畑で充電できるソーラーパネルなどを備えたエコバイク。セレモニーでは花井さんが実際に農園から道の駅まで花を積んでバイクを走らせました。



TOPICS

トピックス/話題

この秋、村への想いをこめた色とりどりの交流事業が数多く展開されました。ここで一気に紹介します。

村民食堂にいらっしやい!

役場に隣接する「までいな家」で、福島大学・大黒ゼミの学生が村民と協働して村民をおもてなしする『村民食堂』を定期開催しています。主催は飯館までい文化事業団。くつろぎの空間で、一汁一菜膳(500円)が味わえます。



「いいたて移住サポートセンター」となっている「までいな家」で10月から3月まで月1回の開催。次回は12月23日です。



10月28日のメニュー。村民がつくる漬物や2種類のおこわ、具沢山の汁物に小鉢も付いておいしそう!

12月9日には「村民食堂」スピンオフ企画が実施されます。かつて「生活改良普及員」として村の加工グループを支援くださった相馬市の阿部眞貴子さんが、思い出の地・飯館で、1日限りの和食レストランを開店します(限定40食・1食500円)。当時の仲間とぜひ訪れてみては。開店は午前11時です。

雪っ娘かぼちゃの収穫祭

11月23日、道の駅までい館で、『いいたて雪っ娘祭』が開催されました。当日は、開発・育種を行った菅野元一さん(宮内)、生産者で加工品開発に取り組む渡邊とみ子さん(前田・八和木)らがあいさつし、雪っ娘かぼちゃの魅力や今日に至る物語を紹介。各地で生産に取り組む仲間も駆け付け、品評会なども行われました。



雪っ娘かぼちゃはもちろん特長を生かして開発された加工食品や菓子も大人気。多くの人が買い求めました。



11月11日 いいたて希望の里学園

飯館ライオンズクラブから 学園とホームに心温まる寄贈

『飯館ライオンズクラブ』（長谷川長喜会長／宮内）が、「いいたて希望の里学園」と「いいたてホーム」へ、心温まるプレゼントを贈りました。

学園へはタブレットケース約50個を。1人1台活用しているタブレット本体と付属のペンを一緒に収納できるタイプで、ケースは前期課程を中心に配付されます。

またホームへは加湿器3台を。贈呈式に出席した入居者代表に、長谷川会長が、「活用していただき、ぜひ元気で長生きを」と声をかけると、入居者さんも「どうもね」と優しい笑顔で感謝を伝えました。



11月20日 いいたてホーム

農業者との意見交換会 花卉農家と関係機関が情報共有

10月31日、交流センター「ふれ愛館」で、村農業委員会主催の『令和4年度農業者（花卉）意見交換会』を開催しました。第1部では、市場関係者を交えて、最新の市場動向などの情報を共有。第2部には杉岡村長も出席し、村への要望なども含めた意見交換を行いました。会には、花卉農家25人をはじめ、村農業委員会、県相双農林事務所、JAふくしま未来などが出席。意見を交わす中で、土づくりや人手の確保、出荷方法などにも話題が及び、それぞれの立場から活発な議論が続きました。



関係者が一堂に。7月に実施した畜産農家との意見交換会に続き、今年度2回目の開催です。

秋のイベントに続々出展 村の物産を各地でアピール

この秋各地のイベントに出展し、村の物産をPRしました。11月5日は「つながるフェスタ」（福島市）、同23日は「ふくしまフェスティバル」（愛知県名古屋市）、同27日は「福島くらし&しごとフェア」（東京都千代田区）に出展。産品を通して来場者に村の魅力を伝えました。また、10月30日には東京都中央区で、11月13日には大玉村で「日本で最も美しい村」連合のイベントにも出展。小宮民俗芸能保存会の皆さんには「小宮の田植え踊り」を披露していただきました。（表紙もご覧ください）



写真は「道の駅ふくしま」で行われた「つながるフェスタ」の様子。物販や展示で多くの人と交流しました。

老人クラブ連合会 防災センターで防災研修交流会

11月5日、飯館村老人クラブ連合会が、飯館村地域防災センターで『村民防災研修交流会』を開催。約60人が参加しました。防災研修では、村職員を講師に、「飯館村防災ハザードマップ」を確認。災害時に避難する際の注意点や、準備したい防災グッズについて学び、続いてセンター内を見学しました。

交流会では、旧校庭で「ホールインワンゲーム」を楽しみ、飯館村赤十字奉仕団が災害時の訓練を兼ねて炊き出しをした防災食、「ハイゼックス炊飯」のご飯と豚汁で会食しました。



防災研修は、地域防災センターの多目的ホールで行いました。奥中央はあいさつする菅野茂連合会長。

農業委員会が村内農地視察 ほ場をめぐり現状を共有

11月18日、飯館村農業委員会が、『村内農地視察研修』を行いました。当日は、17人の委員が参加して、村の担当者と共に、宮内地区、八木沢・芦原地区、小宮地区、蕨平地区、関沢地区をバスでめぐり、それぞれのほ場で現状や課題、特徴的な取り組みなどについて聞きました。現地で農家の方から話を聞く機会もあり、参加した委員は「生の声を聞くことができよかった。視察の意義を感じた」と話していました。農業委員会では、村内農地の視察研修を、今後も引き続き行っていきます。



蕨平地区では、菊地廣行さんのほ場を視察。作付けの状況や営農上の課題を聞き取りました。

相馬農業高校×森林組合 高校生が林業の現場を見学

11月10日、県立相馬農業高校（南相馬市）の『林業見学会』が、二枚橋地区の「ふくしま林業再生事業施工地」で行われました。これは同校と県相双農林事務所の連携事業で、環境緑地科の1年生13人が現地を訪れ、飯館村森林組合の実演で、林業機械による伐木や掘削、木材の積み込みなどを見学。森林の役割や手入れの重要性なども学びました。講師を務めた組合の皆さんは、地域の実情や林業への想いも伝え、「ぜひ進路選択の一つに」と、職業としての魅力もアピールしました。



最新の林業機械の作業は圧巻。代表生徒が「体験を今後の学びに生かしたい」と協力を感謝を伝えました。

10月30日投開票 第22回福島県知事選挙 県知事選挙について飯館村の投票結果をお知らせします

各候補者の飯館村での得票数

当選	内堀まさお	1,803票
	草野よしあき	129票
	(無効投票数)	7票

- 当日有権者数 4,343人
- 投票者数 1,939人
- うち期日前投票者数 1,237人
- 投票率 44.65%
- 福島県全体投票率 42.58%



当日の投票所は、村役場ととうほう・みんなの文化センター(福島市)に置かれました。開票作業(上の写真)は、交流センター「ふれ愛館」で行いました。

11月の村の動きと主なできごと

- 2日・職員向けゲートキーパー養成講座(村役場)
- 3日・むし歯0の子表彰式(ふかや風の子広場)
- 5日・第2回飯館村YOUTOKO発見ツアー(村内各所)
- ・「つながるフェスタ」出展(福島市・道の駅ふくしま)
- 6日・小宮地区農地中間管理事業調印式(小宮コミュニティセンター)
- 7日・新型コロナウイルス感染症対策本部会議(村役場)
- 9日・企業消防隊消防資機材引渡し式(菊池製作所)
- 10日・長泥地区除染検証委員会/拠点区域外土地活用検証委員会(ビレッジハウス)
- 相馬農業高校 林業見学会(ふくしま森林再生事業施工地/二枚橋地区)
- ・「ふくしま駅伝」飯館村チーム結団式(交流センター「ふれ愛館」)
- 11日・乳幼児健診(いちばん館)
- ・生涯学習事業「テアト教室」(交流センター「ふれ愛館」)
- 12日・関沢地区農地中間管理事業説明会(関沢ふれあいハウス)
- 13日・「日本で最も美しい村」連合県内加盟5町村合同物産展inおたま(大玉村)
- 飯館村消防団 防火パレード/消防訓練(いたて村の道の駅までい館他)
- 16日・福島県立医科大学保健科学部実習(いたてホーム)
- 17日・新型コロナウイルスワクチン(オミクロン株対応)集団接種(いちばん館)
- 18日・令和4年飯館村表彰式(交流センター「ふれ愛館」)
- ・農業委員会 村内農地視察(村内各所)
- ・農業委員会 村内農地視察(村内各所)
- ・農業委員会 村内農地視察(村内各所)
- 20日・ふくしま駅伝第34回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会(白河市〜福島市)
- ・長泥行政区住民懇談会(ハルセイイざか)
- 21日・新型コロナウイルス感染症対策本部会議(村役場)
- ・第3回飯館村行政区長会議(交流センター「ふれ愛館」)
- 21日・行政区ヒアリング(村役場)
- 21日・読書メッセージコンテスト審査会(交流センター「ふれ愛館」)
- 22日・「ふくしまフェスティバル2022」出展(愛知県名古屋)
- 22日・読書メッセージコンテスト審査会(交流センター「ふれ愛館」)
- 24日・定例教育委員会(村役場)
- 25日・飯館村議会第9回臨時会(議場)
- 26日・いたて冬まつり/第1回飯館ジャズフェスティバル/イルミネーション点灯式
- ・「いたて冬まつり」第1回飯館ジャズフェスティバル/イルミネーション点灯式
- 26日・移住検討者向けツアー「ミチシル旅」第3弾(村内各所)
- 27日・福島くらし&しごとフェア2022(東京都・東京交通会館)
- 27日・行政区ヒアリング(村役場)
- 29日・二瓶麻美さん 地域おこし協力隊卒業式(村役場)
- 30日・福島県立医科大学保健科学部実習(いたてホーム)

話題のパレット

新蕎麦に笑顔 永井川カフェ

11月10日、『永井川カフェ』の皆さんが、松原光年さん(小宮)の自宅を訪れました。深まる秋の風景を楽しみ、蕎麦打ち名人でもある松原さんの手打ち蕎麦を味わおうという「移動お茶会」の企画です。参加者の皆さんは和気あいあい。「何でも話せて楽しいよ」「いろいろな企画で楽しませてもらって世話役の佐藤俊雄さん(草野)に感謝です」と話していました。散策の後の会食では、打ち立ての新蕎麦のおいしさに、皆の笑顔がほころびました。



いつものメンバーを中心に18人が参加しました。

旧白石小で癒しと食のフェア

旧白石小を活用



校舎の面影そのままの雰囲気も楽しみながら。

11月13日、旧白石小学校で、『まるごと癒しin飯館旧白石小学校』が開催されました。主催は「ケア工房美いず」(福島市)。ネイルケアやカラーセラピー、アロマや石鹸づくりなどのワークショップが行われた他、同所で開業している「はり・きゅうカシエット」のお試し体験も人気を集めました。また、ハンドメイドの雑貨や菓子の販売、占いコーナーなどにも多くの女性が足を止め、休日のひとときを楽しんでいました。

行政区主催のイベントに笑顔が集いました

この秋の楽しいイベントの様子が届きました。



11月3日 二枚橋・須萱行政区
第1回区長杯パークゴルフ大会を開催しました。



11月13日 大倉行政区
「ガニマキ」を作って味わいました。



10月14日 前田公民館にて

リスコミ講座でキノコの線量を測定

前田行政区が、「放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター」の協力で『キノコを測ってみよう』講座を開催しました。講座では、香茸(いのはな)の線量を測定し、乾燥で高まり、茹でこぼしで下がる様子などを実験。測定値を元に「いのはなご飯」にして食べた場合の量で線量を推計するなど、専門家の解説を通してリスクに対する知見を高めました。

※村内の「野生」のきのこの出荷・摂取は現在も制限されています。

避難が終われば帰るつもりで、家を小さく立て替えましたが、避難前に大病をした妻の通院や訪問看護もあつて、福島市での生活が続いています。比曾の家には、息子夫婦が暮らしています。子どもたちもそれぞれ忙しいのですが、よく立ち寄ってくれますね。



はなれていても

菅野 民雄さん (比曾 福島県福島市在住)

比曾には、比曾村の時代から、地域の人が大切にしてきた4つの神社があります。それぞれに世話役がいますが、大事なことは行政区の総会にはかかります。私は羽山神社の総代になっていて、葉山の一番上にある神社の様子がずっと気掛かりでした。かつては山仕事の人や遠くからも訪れ、お祭りには出店も出て賑わっていた山の神様です。長い避難があり、戻る人が限られ

ている中、参道が荒れて参拝できなくなっていました。何もしないでいる訳にはいかないと、皆に相談し、山の下に神社を遷すことにしました。いろいろな人の協力を得て、参道の登り口に神社を遷すことが決まりました。造成が終わって、地元の大工さんに社殿を建ててもらった段階までできました。道路に近い場所にも社殿ができれば、今度は誰でも車でお参りに行ける。そういう場所になるでしょう。

お祭りは旧暦の4月。今の暦だとちょうど田植えの頃です。避難の前に皆で集まって、羽山神社のお祭りをやって別れたことを思い出します。100戸程の家があったけれど、子どもの頃から知っていて、どこに行っても身内のようにでした。「いたか」「お茶でも飲んで行け」とやってきた。街の暮らしにはないよさがありました。慣れ親しんだ場所です。余生を過ごせたらという思いは今も胸にありますよ。



Merry Christmas!
& Happy New Year!

今年もたくさんの方々に交流センターを利用していただき、ありがとうございました。来年もどうぞよろしくお願いたします。

交流センター「ふれ愛館」だより
今年もたくさんの方々に交流センターをご利用をありがとうございました。今年もたくさんの方々に交流センターを利用していただき、ありがとうございました。来年もどうぞよろしくお願いたします。

交流センター「ふれ愛館」だより
今年もたくさんの方々に交流センターをご利用をありがとうございました。今年もたくさんの方々に交流センターを利用していただき、ありがとうございました。来年もどうぞよろしくお願いたします。

地域おこし協力隊 いいたてDIARY

ダイアリー

みなさんこんにちは。
協力隊2年目の松尾洋輝です。

もうすっかり寒くなりましたが、ここ数か月はさまざまなイベントに、図図倉庫トレーラーカフェとして出店させていただいておりました!

そのおかげで、少しずつですが認知度も上がってきたのかなと感じております。

11月には、図図倉庫もグランドオープンすることができ、カフェも週4回(火、水、金、土)に増えました!

お時間ある方は、ぜひ図図倉庫に足を運んでみてください!



今月のライター
飯館村地域おこし協力隊
松尾 洋輝さん

※図図倉庫 飯館村深谷字二本木前5-1(旧コメリ)

「芋茎(いもき) = 里芋の葉柄」を日に干した伝統食。「ずいき」「わりな」と呼ぶ地域もあります。



いもがらの巻

おいしい飯館! までの食卓

生産者の皆さんにおいしい食べ方を聞いてみよう!

野菜づくりは健康づくりでもあるそうです。様々な季節の野菜を道の駅に出しています。



齋藤タツ子さん (深谷)

水に浸して戻し、サッと湯がいてから使いましょう

いもがらを作る時は、雨に当たらないよう、霜に当たらないよう気をつけて、しっかり乾かします。この秋は晴れの日が続いたので、いもがら作りにはいい気候でしたね。我が家では、味噌汁に入れたり、炒め物にしたりして味わいます。アクがあるので、水で戻した後、サッと湯がいて水にさらしてから使います。食感が残るよう、湯がく時間は加減してください。アクが抜けたら、ブツブツ切って使います。



味噌汁に...
いもがら味出ます

味噌汁は定番ですね。水で戻して湯がいたいもがらに、ジャガイモ、油揚げなどを合わせて。味わい深い一品。



炒めでも
おいしい!

千切りのダイコン、色味にニンジン、さつま揚げなどに、戻して湯がいたいもがらを加えて、炒め物に。

味付けは味噌や
醤油ベースで



一人ひとりの日々の営みが
ふるさとを輝かせています

第5回

杉岡 誠 村長の
愛楽故郷味

あいらくふるさとみ



第1回から連続34回出場場の「ふくしま駅伝」。今年は補欠なしでの出場がチーム全体が大きな緊張感に包まれていたとのことでしたが、昨年より16分もタイムを短縮する激走に勇気と感動をいただきました。村を代表しての堂々とした走り、その思いのほどに目頭を熱くしました。

飯舘村で開業し、県内外に多くのファンを持つ名店「樞久里珈琲」がめでたく30周年を迎えたことも、村にとつて喜ばしいトピックのひとつです。長年に亘り、大切にお店を育てられたことに改めて深く敬意を表します。

ふるさと飯舘村を支えるのは、お一人おひとりの日々の営みそのものです。有り難き縁を大切に人が人を感じる心、ふるさとを愛する心、それらが無二の魅力となつて、確かな力となります。

冬に向け、ワクワクする楽しいイベントにも奮ってご参加ください。季節の変わり目、皆さま是非ご自愛されながらお過ごし頂けたら幸いです。

ススキが首を垂れる深い秋。あちこちで美しい紅葉が見られ、気温の変化や風景の移ろいを感じる11月でした。

10月末の「日本で最も美しい村まつり」では、高層ビルに囲まれた東京で「小宮の田植え踊り」の皆さんが村の伝統芸能をご披露くださいました。特に海外の方々が多く鑑賞されていたのが印象的でした。

また11月13日には大玉村で初めて、「日本で最も美しい村」連合に加盟する県内五町村合同物産展が開催され、初出店の「村カフェ753」さんのベーグル、飯舘村産牛100%のビーフバーガーがいち早く売り切れるなど、多くの方々に好評を頂きました。「小宮の田植え踊り」も素晴らしく、村産品も人気を博して、飯舘村の魅力存分にアピールできた1日となりました。

ひとのうごき

結婚おめでとう

氏名	出身地
大谷 李輝さん	二枚橋・須萱
佐藤 光瑠さん	会津若松市

HAPPY WEDDING!

ひとのうごき 令和4年10月31日現在

人口	今月(前月比)	10月1日~31日までの人口動態
●男	2,439人(-10)	転入 3人
●女	2,426人(-7)	転出 14人
計	4,865人(-17)	出生 0人
世帯数	1,810戸(±0)	死亡 6人
		(住民基本台帳人口)

(10月21日から11月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へ申し出てください。

おくやみ

氏名	年齢	行政区
菅野 ハルヨ	92	小宮
庄司 芳弘	80	草野
高橋 正臣	90	飯樋町
菅野 功	96	関根・松塚
菅野 新一	70	関沢
菅野 サワヨ	92	伊丹沢
佐藤 一治	88	比曾
山田 マキヨ	101	伊丹沢



ご冥福をお祈り申し上げます

ふるさと資源

発掘図鑑!



#ミョウガの赤い花!?

「伊藤美智子さん(前田)の庭のミョウガに自然の色とは思えない赤い色の花が!」という情報をいただき撮影に。調べてみると、これは滅多にならないミョウガの実なのだそう(よく見る花は淡黄色)。その実が開いて白い種子が見えています。大変珍しく、吉兆とする地域もあるようです。

皆さんからの情報や投稿でつくるページです

どなたでも投稿できるコーナーですので皆さんも身近な話題をどしどしお寄せください!

飯舘村広報委員会(村づくり推進課企画定住係)

☎0244-42-1613



#秋を彩る「ざる菊」

庭や畑に、色鮮やかな「ざる菊」を数多く見かけるようになりました。ザルを伏せたような形からこの名で呼ばれます。赤・白・ピンク・黄色などがあり、モコモコと小山が連なるように無数の小菊がぎっしりと咲く光景は見事です。写真は和野保男さん(八木沢・芦原)の自宅に咲いた真紅のざる菊です。

村民広報委員
ふじおさんの



いいって **宝**さがし



自然の中で!

夏の昼頃、新築の家の庭にきれいなレンガを敷き詰めている夫婦の姿を見ました。佐藤英信・郁子夫妻(深谷)でした。レンガ積み後はピザ窯を造るとも話してくれました。丸い笑顔の気さくな夫妻でした。

今回訪ねてみると、案の定庭に2人の手造りのベランダと立派なピザ窯が出来ていました。

令和3年に仙台からUターン。終(つい)の棲家(すみか)にとの思いからでした。帰って来た当時は震災の前にあったスーパーも旅館もタクシー会社もなく、淋しくも悲しくも感じたそうです。

今は趣味で仲間と蕎麦打ちをし、テーブルやかわいい木製の時計なども手造りしていて、畑にはかかしを掲げ、野菜を栽培して、自分を楽しみ、自然を楽しんでいると言います。お金では買えないものがこの飯舘村にはいっぱいあって、他の人たちにもこのふるさと飯舘村での生活を楽しんでほしいと熱く話してくれました。

そんな、自然と今この一瞬を大事にすることが、私も本当の**心の宝**だと思います。

村産品の魅力を育てどんどん発信しよう！ 各地の大学の学園祭に展示や物産が登場

村で生産されている農産物の魅力を全国に発信しようと、今年度からスタートした「いいいたて魅力向上発信事業」。その一環としてこの秋各地の大学の学園祭に村のブースが登場しました。学生の皆さんの協力を得て、物産の販売や紹介展示などが多彩に行われました。



明治大学「生明祭」。村とつながる様々な活動を展開する「本所ゼミ」の展示も。

村には全村避難を乗り越えて引き継がれている農業の技術があり、意欲ある農家の懸命な努力によって、再び多くの魅力的な農産物が生産されています。村は、それらの農産物の魅力をさらに高めて、風評を取り払うべく情報を発信して、こうと取り組んでいて、この秋は各地の大学の学園祭で、学生と共に物販やPR活動を展開しました。

各学園祭では学生たちが、「ふるさとの担い手」として村の魅力を多彩に表現。普段は接点のない多くの方に村の産品を手にとっていただきました。

復興サークル「はまでいず」を中心に「いいいたてフェスタ」



千葉大学「戸定祭」。手書きポップが素敵。



大阪大学「まちかね祭」。あぶくまもちと撮影も。



〈編集後記〉

● 気付けば12月。1か月足らずで、また新しい年がやってきます。めまぐるしい毎日を過ごす中でも、広報の制作は、1か月を振り返ることができる貴重な時間です。2023年は、今よりもっと広報紙上に笑顔の花を咲かせられるよう、頑張ります。村広報がカメラを向けた際には、

皆様、はじける笑顔をお願いいたします！(菅野)

● 「ふかや風の子広場」にイルミネーションが灯りました(P18参照)。11月26日の点灯式を含む冬まつりの様子も次号で紹介しますが、ぜひぜひ現地でご覧ください！商工会青年部による冬の光の贈り物。寒い日でも心がほっこり。浄化されます…。(星)

Native Speakers

ネイティブ・スピーカーズ 飯舘言葉の達人たち 第20回



その意味は…

おてんとさまが まちばい！



スマホのカメラをかざしてYouTubeで見てください
または検索で！

飯舘村 YouTube

「広報いいいたて」では、撮影対象者の了解を得た上でマスクを外していただき、感染症対策を行いながら撮影しています。